

平成26年度 横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラム

横浜ひなたやま支援学校は、不祥事の発生を防ぐことを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、教頭及び事務長が補佐する。また、総括教諭は、校長及び教頭を補佐し、事務長を補助する。

2 目標及び行動計画

項目	目標	行動計画	担当	実施予定
1 公務外非行の防止	公務外であっても、公務員として自覚ある行動をする。	職員行動指針の共有化	教頭	4月
		啓発資料等により、法令遵守意識の向上		通年
		不祥事防止自己チェックの実施		学期末
2 わいせつ・セクハラ行為の防止	子どもの人権についての理解を深め、わいせつ・セクハラ行為等を防止する。	研修会の実施	連携支援GL	8月
		不祥事防止自己チェックの実施		学期末
3 体罰、不適切な指導の防止	体罰や不適切な指導についての本質的な理解を深め、防止する。	研修会の実施	教育推進GL	9月
		不祥事防止自己チェックの実施		学期末
4 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の保護の本質についての理解を深め、適切な情報管理を遂行する。	文書管理に係るルール周知	総務管理GL	12月
		不祥事防止自己チェックの実施		学期末
5 交通事故・交通違反の防止	法令遵守の意識を持ち、交通事故、飲酒運転等を防ぐ。	啓発資料の活用	教務企画GL	11月
		不祥事防止自己チェックの実施		学期末
6 業務執行体制	事業実施に向けた作業工程表を作成し、計画的かつ適切な準備をする。	作業工程表を活用した業務管理	学部L	通年
		不祥事防止自己チェックの実施		学期末

3 プログラムの実施及び検証

(1) 定期検証

2に規定する行動計画について、随時確認する。また、各目標達成に向けて行動計画を追加・修正する必要がある場合は、随時必要な追加・修正を行う。

(2) 最終検証

2に規定する行動計画について、平成27年3月初旬までに実施状況を確認すると共に、各目標達成についての自己評価を行う。その結果、新たな目標設定が必要な場合は、新たな目標設定を行ったうえで、平成27年度における横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラムを策定する。